

令和4年度

福祉サービス第三者評価

評価結果報告書

あいあいちびっこルーム

株式会社ティーアイ・メディカル

福祉サービス第三者評価結果報告書【令和4年度】

年 月 日

〒 175-0094  
 所在地 東京都新宿区新宿1-36-2-3F  
 評価機関名 株式会社ティーアイ・メディカル  
 認証評価機関番号 機構 05 - 158  
 電話番号 03-5962-7729  
 代表者氏名 飯田聡之



以下のとおり評価を行いましたので報告します。

評価者氏名・担当分野・評価者養成講習修了者番号	評価者氏名	担当分野	修了者番号
①	飯田聡之	組織	H0401070
②	庄司直子	福祉	H1102034
③			
福祉サービス種別	保育所		
評価対象事業所名	あいあいちびっこルーム		
事業所連絡先	〒	204-0023	
	所在地	東京都清瀬市竹丘3-2-61	
	TEL	042-497-2308	
事業所代表者氏名	北村美保		
契約日	2022 年 4 月 6 日		
訪問調査日	2022 年 7 月 27 日		
評価合議日	2022 年 8 月 8 日		

2022 年 8 月 27 日

事業者代表者氏名 特定非営利活動法人 ウイズアイ  
 理事長 吉松 治 任



調査対象

調査開始時点で登録している保護者全員

調査方法

園から保護者へアンケート調査用紙を渡し、保護者は評価機関へ直接郵送する無記名アンケート調査

利用者総数

12

利用者家族総数(世帯)

12

共通評価項目による調査対象者数

12

共通評価項目による調査の有効回答者数

8

利用者家族総数に対する回答者割合(%)

62.3

### 利用者調査全体のコメント

小規模の保育園であるため、アンケート調査の対象者数及び回答者は多くないものの、総合評価では「大変満足」が5名、「満足」が3名であり、全体的な評価は非常に高い。自由記述では、少人数ゆえに園が丁寧にきめ細かく対応している様子、子どもが楽しく通っている様子が伺え、感謝や喜びの声が多く寄せられている。

### 利用者調査結果

共通評価項目 コメント	実数			
	はい	どちらとも いいない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか 「とてものびのびと保育してくださり、子どもも先生とお友達が大好きです」	8	0	0	0
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか 「子どもの興味あるものを作ってくださったり、遊びに取り入れて活動してくださっていました」	8	0	0	0
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか 「子どもが食べやすいサイズにカットされていたり、おやつはたまに子どもが焼いたクッキーだったり、良かったです」	8	0	0	0
4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか 「自然が多い地域で、お散歩ではカタツムリやセミ等、いろいろと触れ合えたようです」	8	0	0	0
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか 「急な残業や出勤が多かったのですが、とても柔軟に対応して頂けました」	7	1	0	0
6. 安全対策が十分取られていると思うか 「大きなケガもなく、お散歩の時等も安全対策が取られていました」	8	0	0	0
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か 「コロナ禍であまり行事はありませんでしたが、保育参観に参加しやすいように配慮して頂けました」	8	0	0	0
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか 「毎日、帰りに様子を話してくれました」「毎日子どもの様子を必ず伝えて頂き、子育てや仕事の話等、いろいろと相談に乗って頂きました」	7	1	0	0

9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	8	0	0	0
「園内はとてもきれいで、無駄なく整理されていました」				
10. 職員の接遇・態度は適切か	7	1	0	0
「とっても良い職員の方ばかりです」				
11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	8	0	0	0
「信頼していたので、安心して保育して頂けました」				
12. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	8	0	0	0
「子どもに寄り添って、子どもの気持ちを尊重して接して頂けました」				
13. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	8	0	0	0
「家庭的で、保育ノートも毎日記入してくださり、お迎えの時も保育中の様子を伝えて頂けました」				
14. 利用者の不満や要望は対応されているか	7	1	0	0
「特に不満はありませんでした」「1度も不満を感じたことはありません」				

I 組織マネジメント項目(カテゴリー1～5、7)

No.	共通評価項目	
	カテゴリー1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリー1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	
	評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている
		<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている
		<input type="radio"/> 非該当
	評価項目2 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている
		<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している
		<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている
		<input type="radio"/> 非該当
	カテゴリー1の講評	
	<p>理事長が法人の方針を伝え、園長も現場で理念や方針を実践し、職員の理解に繋げている</p> <p>法人が目指していることについて、昨年度は理事長が法人の成り立ち等を説明、今年度も今後の方針について理事長から直接職員へ伝える予定である。また、昨年度末には一部の職員を対象に、「保育所における自己評価」を実施し、理念・方針への理解や課題の共有、子どもや保護者への支援等について職員が考える機会を設けている。さらに、新入職員には園長がオリエンテーションを実施して伝えている他、園長も現場に入ることによって率先垂範して園の理念や方針を現場で実践し、職員の理解に繋げている。</p> <p>重要案件はSNSの活用で職員へ周知、保護者へは園だよりやホームページで伝えている</p> <p>重要案件は理事会や事務局にて決定し、園長から職員に伝える他、法人所属の全職員に直接連絡できるSNSも活用している。また、毎月開催する会議でも今後の予定等を伝えている。保護者に対しては、「ちびっこだより」にて延長料金等のお知らせや今後の予定、依頼事項等を伝え、4月は年間行事予定表も記載している他、ホームページでも法人内各事業のカレンダー、新型コロナウイルス(以下、コロナ)対応、法人事業報告会及び総会の連絡等、様々な重要案件を掲載している。</p>	

カテゴリ-2		
2 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行		
サブカテゴリ-1(2-1)		
事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		
評価項目1		
事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-2(2-2)		
実践的な計画策定に取り組んでいる		
評価項目1		
事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2		
着実な計画の実行に取り組んでいる		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリ-2の講評		
<p>法人として幅広い事業を展開し、地域の福祉に関する様々な情報を収集できる環境にある</p> <p>園を取り巻く環境について、保護者の意見は日々の登降園時の会話や連絡ノート等で把握、職員の意見は年1回法人独自で実施しているアンケート調査で把握し、課題を抽出、事業計画に反映させている。また、地域や業界全体の動向は、市の地域連絡会や保健職連絡会、衛生管理報告会等を通して把握している他、地域の栄養士による会合への参加も検討している。さらに、法人としてつどいのひろば事業、一時保育、引きこもりの若者支援、子ども食堂等、幅広い事業を展開しており、地域の福祉の様々な情報を収集できる環境にある。</p> <p>事業内容毎に前年度を総括して成果や課題をまとめ、法人全体の事業計画を作成している</p> <p>法人全体の事業計画については、まず事業内容毎に前年度を総括して成果や課題をまとめたうえで作成、園としても3月の会議にて年度を総括し、翌年度に向けた計画を作成している。また、毎月の会議では各クラス状況報告や今後の予定を確認し、計画の着実な実施に取り組んでおり、コロナ禍での計画通りの実施は容易ではないが、必要な対策を講じたうえで、保育参観やクリスマス会等、できる限りの行事を実施している。法人としては、今後さらに事業を幅広く展開する予定もあり、計画に見合う人員体制や職員の負担軽減も課題に掲げている。</p>		

カテゴリ-3

3 経営における社会的責任

サブカテゴリ-1(3-1)

社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる

評価項目1

社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリ-2(3-2)

利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている

評価項目1

利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2

虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリ-3(3-3)

地域の福祉に役立つ取り組みを行っている

評価項目1

透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2

地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

カテゴリー3の講評

外部研修やチェックリストを活用し、法・規範・倫理の遵守に取り組んでいる

守るべき法・規範・倫理については、外部研修を通して学び、保育所保育指針等に基づいたチェックリストも活用、職員一人ひとりが日頃の言動を振り返る機会を設けている。虐待防止については、地域の家庭支援センター等の関係機関とも連携している。苦情解決制度については、今後重要事項説明書に行政担当窓口を記載するとともに、外部の第三者委員を選任することも期待したい。保護者の意見・意向は連絡ノート等で把握、今年度は第三者評価制度を活用して無記名アンケート調査も実施しており、保護者からは高い信頼を寄せられていることが伺える。

実習生やボランティアの受け入れ等、専門性を活かしながら地域に貢献している

当法人は毎年事業報告会を開催、市長や教育長の他、市外行政担当者や園の関係者も出席し、ホームページでも定款や事業報告書、決算報告書を公開している。また、法人及び園として毎年多くの実習生を受け入れている他、地域の自治会に本部事務所を貸し出したり、ボランティアの方と園周辺の花壇を整備、コロナ以前は老人保健施設の入所者や他の保育園とも交流・連携がある。さらに、一時保育や加配が必要な子どもを受け入れ、医療的ケア児の対応等、専門性を活かしながら地域と共に歩む法人及び園の取り組みを高く評価したい。

カテゴリー4

4

リスクマネジメント

サブカテゴリー1(4-1)

リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる

評価項目1

事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる

評価	標準項目	
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリー2(4-2)

事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている

評価項目1

事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要ときに活用できるように整理・管理している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	<input type="radio"/> 非該当

カテゴリー4の講評

災害対策や事故防止、不審者侵入、感染症予防等、リスクマネジメントに取り組んでいる

リスクマネジメントについて、災害対策として定期的に避難訓練を実施、団地内の消防訓練にも参加し、緊急時は保護者に一斉メールで通知している。事故防止は、チェックリストを活用し、毎月クラス別に園内外の安全点検を実施、危機管理対応マニュアルも備え、会議でもヒヤリハット事例等を協議して再発防止に繋げ、不審者侵入対策訓練も実施している。コロナ対策としては、保健職連絡会を通して他園の状況をはじめ、様々な情報を収集・活用している。今後は、大規模災害を想定したBCP(事業継続計画)の作成にも取り組んでいくことを期待したい。

情報は適切に管理し、今後は個人情報保護について明文化していくことも検討している

週案や月案、生活環境調査表、職員会議録、研修報告書等の書類は種類別に適切に整理、重要書類は施錠管理し、必要な時に活用できるようにしている。個人情報保護について、保護者による園内撮影やSNSへの投稿等については入園時に説明のうえ、必要に応じてその都度伝えている。また、職員に対しても雇用契約書に秘密保持について明示している他、スマホ撮影後はデータを消去するかパソコンへデータを送るように伝えている。実習生等にも必要に応じてその都度伝えているが、今後は個人情報の取り扱いについて明文化していきたいと考えている。



カテゴリ-5		
5	職員と組織の能力向上	
サブカテゴリ-1(5-1)		
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる		
評価項目1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	○非該当
評価項目2 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	○非該当
評価項目3 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる		
評価	標準項目	
●あり ○なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	○非該当
カテゴリ-5の講評		
<p>コロナ禍でも研修受講環境を整え、多くの職員が様々な研修を受講している</p> <p>採用は法人本部が担当、園長も面接に同席し、園が求める人材確保に取り組み、クラス担当は職員の希望や経験・能力の他、職員同士の相性や園全体のバランスも考慮し、各クラス1名は持ち上がりとしている。育成は勤務形態に関係なく、外部研修に積極的に参加、ネット環境を整備してリモート等のオンライン形式の研修にも対応しており、昨年度は都のキャリアアップ研修に延べ49回参加している。職員アンケートでも、「研修、講習を多く取り入れている」等、研修受講環境を高く評価する声も寄せられている。研修参加への取り組みを高く評価したい。</p> <p>職員一人ひとりの家庭の事情に配慮したシフトを組み、風通しが良い職場を作っている</p> <p>職員の定着及び意欲向上に向けた取り組みとしては、職員一人ひとりの家庭の事情に配慮したシフトを組み、急な変更にも応じている。また、職員アンケートでは「風通しが良い」との意見も寄せられている。一方で、一部の職員に業務負担が偏っており、勤務体制の整備や職員の確実な休憩時間・場所の確保も課題の一つとしてあげられている。今後、法人としてさらなる事業の拡大も視野に入れ、関連規程の整備や働き方改革も進めたいと考えており、法人及び園として職員の負担軽減に向けて、さらなる取り組みを期待したい。</p>		

Ⅱ サービス提供のプロセス項目

No.	共通評価項目	
	サブカテゴリー1	
1	サービス情報の提供	
	評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している <span style="float: right;">○非該当</span>
	●あり ○なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものにしていく <span style="float: right;">○非該当</span>
	●あり ○なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している <span style="float: right;">○非該当</span>
	●あり ○なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している <span style="float: right;">○非該当</span>
	サブカテゴリー1の講評	
	<p>ホームページや入園のしおりで園の情報を提供、インスタグラム等の活用も検討している</p> <p>利用希望者への情報提供手段として、ホームページや入園のしおりがあり、対象年齢や開園時間、利用料金、1日の流れ等を記載した園独自のものと、市内の保育園を紹介した市作成のしおりがある。また、法人として様々な事業を展開、ブログやFacebook、インスタグラムを通して法人の取り組みを紹介している。園では、今後独自にインスタグラム等で情報を発信したり、園周辺への掲示板設置も検討しており、さらなる情報発信に取り組みたいと考えている。Youtube等の動画も活用し、園の魅力を分かりやすく伝えていくことも期待したい。</p> <p>市のホームページで最新の空き状況を掲載、入園は個別状況に応じて柔軟に対応している</p> <p>園の空き状況等は、毎月市へ連絡、市のホームページでは年齢別の空き状況や入園の流れ、募集要項等を記載している。見学対応は園長が担当、希望日に見学を受け入れ、戸外遊びに同行することもあり、園の様子が分かるように工夫している。また、食事制限のある外国籍の子ども、発達支援を必要とする子ども、医療的ケアが必要な子ども等、様々な事情に配慮しながら個別の状況に応じて受け入れており、小規模の保育園ならではの良さを活かしている。</p>	

サブカテゴリー2

2 サービスの開始・終了時の対応

評価項目1

サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2

サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリー2の講評

入園のしおりに沿って保護者に説明し、要望等は生活環境調査表に記録している

サービスの開始にあたり、慣らし保育や送り迎え、服装、持ち物、延長保育等について記載した入園のしおりに沿って保護者に説明し、質問や要望を確認、同意を得ている。また、子ども一人ひとりの食事・睡眠・遊び・言語の状況、過去の病気・ケガ、アレルギー有無の他、「興味のあることは、好きなようにやらせる」「自分で考える力を身に付けさせる」等の家庭での教育方針も確認し、生活環境調査表に記録している。入園後の面接記録や発達記録もファイルにまとめ、個別支援計画に繋げている。

慣らし保育を実施して不安やストレスを軽減し、転園の際も支援の継続性に配慮している

子どもの不安やストレス軽減のため、慣らし保育を5日間実施、入園式の際は保護者も一緒に過ごす親子での慣らし保育とし、子育て経験のある職員が継続して担当することで保護者や子どもの安心に繋げている。また、当園は2歳児までのため、他の保育園や幼稚園等、様々な形で転園となるが、転園の際も支援の継続性に配慮し、必要に応じて次園の園長に現状を伝える等、申し送りすることもあり、園では、必要な情報はより積極的に伝えていきたいと考えている。お別れ会では、歌や劇遊びを披露し、これまでの園生活の思い出をスライドで観る機会もある。

サブカテゴリ-3

3 個別状況の記録と計画策定

評価項目1

定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当

評価項目2

全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	○非該当
●あり ○なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	○非該当
●あり ○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直しをしている	○非該当

評価項目3

子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	○非該当
●あり ○なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当

評価項目4

子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	○非該当
●あり ○なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	○非該当

サブカテゴリ-3の講評

全体的な計画を踏まえた指導計画を作成、毎月の反省評価から翌月の見直しに繋げている

子どもの心身や生活状況等を個人日誌や発達記録表から情報収集すると共に、保護者との個人面談で子どもや保護者のニーズ、課題を抽出、個別支援計画を作成している。また、指導計画は、全体的な計画の目標を月案、週案、日案に落とし込み作成、月案と個別計画を一括りに纏め、毎月、前月の反省評価と臨床発達心理士との勉強会で支援方法を検討、翌月の計画作成に活かしている。また、保護者には、指導計画の目標などを園だより等を通してお知らせしているが、保護者から特に希望があれば面談で対応、個別計画の内容を踏まえた説明に努めている。

子どもの日々の状況変化、推移を記録、職員間で随時情報共有出来る手段を確立している

子ども一人ひとりの情報記録として、日々の連絡ノートでは家庭内と園での状況変化を、日誌には日案に沿った1日の保育園での食事、遊び等の様子を記録、それらの情報を基に担任職員が月案に毎月末、子どもの推移を詳細に記録している。指導計画を職員全員に配布し支援内容の情報共有に努めており、併せて、申し送り、引継ぎ等は、ボード類を活用、記録用ボードは子ども全員の体温、お迎え時間等が一目瞭然と確認出来る様、決定事項共有ボードは保護者からの依頼、変更等を必要時に何時でも確認出来る場所に管理し、情報の共有化を確立している。

サブカテゴリー5

5 プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重

評価項目1

子どものプライバシー保護を徹底している

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部和やりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2

サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリー5の講評

「人権擁護セルフチェック」を活用し、職員が日頃の言動を振り返る機会を設けている

「ちびっこだより」等への子どもの写真掲載については保護者に直接確認し、同意を得ている他、職員にもスマホでの写真撮影の際の注意事項を伝えている。また、子どもの権利条約や保育所保育指針等に基づいた「人権擁護セルフチェック」も実施し、職員一人ひとりが登降園時や昼食時、午睡時等、日常の様々な場面での言動を振り返り、より良い関わり方を学んでいる。保護者アンケート調査では、「子どもに寄り添って、子どもの気持ちを尊重して頂けた」「子どもがのびのび楽しく過ごしています」等の声が寄せられている。

一人ひとりの強みや伸ばしたい所、気になる所等を的確に把握し、丁寧に寄り添っている

集団生活の中でお互いを認め合える関係性を構築し、子どもや保護者一人ひとりの価値観、生活習慣にも配慮している。遊びたい気分ではない時は他の子どもの遊びを見ていたり、午睡から早く起きた子どもが外で遊ぶこともある他、外国籍の子どもの食事にも配慮、長時間滞在する子もいるため、午前と午後の生活リズムにも配慮している。また、一人ひとりの強みや伸ばしたい所、気になる所等を的確に把握し、先回りすることなく、「どうしたの?」と声掛けして言葉を引き出す等、一人ひとりにきめ細かく寄り添い、小規模ならではの良さを活かしている。

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリー6-4)

サブカテゴリー4		
サービスの実施項目		
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している	○非該当
●あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している	○非該当
評価項目1の講評		
<p><b>職員全員が子ども達全体を把握、一人ひとりの発達過程の共通認識を持っている</b></p> <p>職員は、家庭状況調査書、面談等で子ども一人ひとりの発達過程や生活環境等の全体的な姿を把握、保育を行っている。開園時から順次登園してきた子ども達の自由遊びの時間、給食や活動時にも、職員全員が子ども達全体を把握しながら対応、更に子ども一人ひとりの発達過程を職員が共通認識出来きており小規模保育ならではの成果を出している。外国籍の子どもの受け入れには、特性に配慮しながら、他児と関わる場面を工夫、お互いが自然にふれあえる場面作りを、また、聞き分けの出来ない子どもにはマンツーマンで理解出来る説明に努めている。</p> <p><b>子どもが様々な周囲のものに興味や関心を持って主体的に活動できる環境を工夫している</b></p> <p>散歩時には、お会いした方々に職員が率先して挨拶を交わし、人との関わり方をお手本として示し、また、声を出して季節の変化にも気付く様に工夫をしている。様々な目的に沿った玩具、絵本、遊びコーナーを設置しており、職員は法人内の手作りおもちゃや研修に参加、子どもの発達を考慮して作成、牛乳パックの積み木遊びコーナーは跨いだり、飛んだり運動能力を、ホックで繋ぐ布製のお手玉は発想力を養っている。また、絵本は、図書館で年齢に合った本を選択し子どもが自分から興味や関心が持てる様に、玩具と共に定期的に入れ替えをしている。</p>		
2 評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	○非該当
●あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	○非該当
評価項目2の講評		
<p><b>家庭での子どもの生活の姿を把握し、園や家庭の生活リズムを整える取り組みをしている</b></p> <p>担任職員は連絡ノートに加えて、登園時を保護者から直接、昨夜の睡眠、体調、機嫌等の子どもの様子を確認できる時間と捉えており、其々の情報を1日の生活リズムに反映している。また、降園時には、園での子どもの1日の様子を連絡ノートに記録、併せて家庭で安定した生活リズムに反映する様に口頭で保護者へ報告する事に努めている。更に、園での1日の様子を報告する手段として、献立、園外活動での行先や活動の様子を撮った写真を玄関や廊下に貼り、情報を可視化する事で保護者一人ひとりが、園での生活の様子を把握出来る取り組みとしている。</p> <p><b>保護者と成長段階を共有しながら、子どもの発達状態や状況に応じた援助をしている</b></p> <p>指導計画の「夏ならではの遊びを楽しむ」目標での月案や週案では、保護者に理解頂き、散歩後に汗をかいたり、衣服が汚れたらシャワーを浴び、着替えをする事を学ぶ為に衣類を準備、持参して頂いている。また、手洗い、歯磨きの方法は、理解しやすい歌や掲示物を取り入れ生活習慣を伝えている。昼寝等の時間帯は、子ども一人ひとりの昨夜の睡眠状況、午前中の活動量、体調を配慮して職員が判断をしている。トイレトレーニングも職員間で話し合い子どもの発達状態により判断、先ずトイレに座る事から始め、保護者と連携して成長に応じた援助をしている。</p>		

3 評価項目3

日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気づき、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	7. 保育時間の長い子どもが安心して、くつろげる環境になるよう配慮している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目3の講評

子どもの自主性を尊重、主体的に遊びこみ、更にくつろげる環境作りにも取り組んでいる

自主性の尊重に玩具や絵本を自分で選択出来る環境作りを、子どもが主体的に集団活動に参加しやすいように、言葉ではなく、表示や写真、他の子のやり方を見せる等の工夫をしている。また、自由遊びの後は、片付けの時間を設定して約束を守る大事さを、集団活動では玩具や絵本を皆で平等に使い、皆と一緒に片付ける行為を学ぶ機会にもしている。登園から降園まで長時間過ごしている子どもには、朝はゆったり、静と動の1日の生活リズムを考慮、また、連結マットを活用してくつろげる空間作りを、玩具もタ方用を検討中で環境の配慮に努めている。

言葉、表現、自然環境等を学べる機会を配慮、子どもの生活や遊びの豊かさに繋げている

玩具や物の取り合いの場面では、言葉で自分の気持ちを相手に伝える機会として言葉の理解や発語の意欲が育つ取り組みをしている。また、季節を取り入れた貼り絵等の造形や今月の歌として毎月3曲を選定、身体を動かして表現するダンス等を取り入れ、楽しみながら様々な表現方法を経験出来る工夫をしている。園外活動では、自然に囲まれた環境の公園等も多く、季節の変化を直接感じる機会を作り、散歩コースでは風や雲、手に触れられる草花や果実、また、葉っぱの色の変化から季節の変わり目を感じとれる豊かな感性が育つ様に言葉かけをしている。

4 評価項目4

子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目4の講評

年齢や食習慣を踏まえ、楽しい雰囲気、更に子どもが楽しめる献立を提供している

「楽しい雰囲気食べる喜びを知る」を食育目標の一つとしており、それを踏まえクラス毎に衝立で仕切り、職員が常に傍で見守る等、落ち着ける環境作りに努めている。調理員は日案や個人日誌、毎月の給食会議で喫食状況、嗜好を把握、翌月の献立や味付けに活かしている。また、七夕のそうめん、節分のお豆ごはん、雛祭りのお祝いケーキを用意、お誕生日はお楽しみになっており、子ども達のワクワク献立になっている。宗教上の食材問題は理由を尊重、内容に併せて個別に提供、また、食物アレルギーの必要性に備えて研修に参加する等の対応をしている。

食材の買物、調理の手伝い、トマト栽培等、食への興味を育てる取り組みをしている

様々な経験を通して食への興味、関心を深める取り組みをしている。まず、お店で食材の買い物をする社会経験と、そこで購入したとうもろこしや玉葱の皮むき、葉物やえのきの房分けの調理のお手伝いをする事で、食材により献立が出来る事を理解、併せて感謝することを目的にしている。更に子どもの年齢や発達に併せて簡単クッキングと称した、食パンのジャム塗りやクッキーの型抜きにチャレンジする取り組みも食育の一環としている。また、実際の食材栽培の経験にトマト栽培にチャレンジ、収穫したトマトの味見も食への興味と関心に繋げている。

5 評価項目5		
子どもが心身の健康を維持できるよう援助している		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○非該当
●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	○非該当
評価項目5の講評		
<p><b>病気や怪我の予防・防止対策を毎月保健計画に掲げ、保護者と日々連携し取り組んでいる</b></p> <p>子どもの心身の健康維持には、健康診断や歯科検診の情報収集と共に、日々保護者との連携に努め、子どもを病気や怪我から守る取り組みをしている。保健計画を毎月、春夏秋冬に即した内容に掲げ、夏の時期は熱中症、水遊びの注意、冬には、感染予防の手洗い、うがい、更に咳エチケットを目標に実施している。怪我に関しては、散歩、戸外では段差に注意、空き缶には触れない、信号待ちや横断報道での交通ルールは職員が手を挙げてお手本を示しているが、その中で怪我やかみつき等のヒヤリハット・事故報告書から反省・評価し改善点を検討している。</p> <p><b>医療的ケアが必要な子どもの受け入れ体制に職員が一丸となり整備した姿勢を評価したい</b></p> <p>養育困難家庭の子どもや発達支援が必要な子どもの受け入れの実績がある園であり、昨年度も、定期的な医療ケアや食事内容に特別な配慮を必要とした子どもに対して職員全員で受け入れに取り組んだ。その為、病院、行政と密に連絡を取り、更に主治医と面談してケア方法について指導を受け、職員や調理員は其々の立場で受け入れに必要な技術、知識を習得する為に研修にも臨んでいる。現在、看護師常駐の保育園に転園しているが、受け入れの為に必要な条件を整備した経験は自信にもなり、職員が一丸となり取り組んだ姿勢と取り組みを高く評価したい。</p>		
6 評価項目6		
保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	○非該当
評価項目6の講評		
<p><b>保護者と信頼関係を構築、子育ての共通認識を持ち、個々の事情に応じた支援をしている</b></p> <p>保護者の勤務状況、体調不良、用事、リフレッシュ等個々の事情に配慮した子育て支援として、延長・土曜日保育の他に、法人内の他の事業と連携し日曜日、祝祭日、年末年始などの利用を可能にしている。それらの事情に配慮出来るのも、送迎時に日頃から会話を交わし保護者との信頼関係を築き、連絡ノートでは保護者、職員双方が許されるスペースを最大限活用し、その日の子どもに関しての共通認識を深める事に努めている。更に、臨床発達心理士によるアドバイスも得られ、必要に応じて個人面談等でより信頼関係と共通認識を深めている。</p> <p><b>自粛中の保護者参加の保育活動と保護者同士の交流機会の実施に向けて検討をしている</b></p> <p>親子慣らし保育は、子どもには自主的に遊ぶ体験を、保護者と職員は遊ぶ様子を見ながら保育内容の認識を双方で高めていく時間になっている。交流会では、保護者間の交流目的と併せて保育室の様子や保育内容の理解が出来る機会としている。お別れ会では、1年間のスライド、歌、ごっこ遊びを発表し、保護者間で成長を分かち合う機会になっていたが、コロナ禍で保護者参加の活動を自粛している。これらの活動は保護者や職員にとり理解を深める機会として必要性を感じており、戸外で交流できる行事等活動の見直しを検討中であり、今後の成果を期待したい。</p>		



## 7 評価項目7

地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 園の行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	<input type="radio"/> 非該当

## 評価項目7の講評

地域に根差した園を目指す環境下で、子どもが様々な体験が出来る機会を確保している

園では、地域の人々と交流、地域に愛される保育園を目指しており、地域での様々な体験の取り組みをしている。また法人全体として長年、子育て支援、親支援、地域支援をテーマに活動しており、地域周辺の住民等との交流の中で、園に理解を示し協力を得られる等の環境下にある。新鮮な野菜や地産品を販売する青空市場は、子ども達もお馴染みのお客さん、また、近隣の施設ではテントに絵を描く非日常体験を、図書館では、好きな絵本を見つけ夢中になる時間を、地域のボランティアさんとチューリップや向日葵の球根を植え、花壇作りの挑戦を体験している。

職員以外の人とのふれあい、同世代、世代間交流は生活の幅を広げる一環としている

日々の活動の中で、散歩中にお庭を見せて頂いたお宅には感謝の気持ちを手紙にして届けたり、お世話になっている建物の管理人さんに卒園の挨拶に行く等、人との関わり合い方を職員が実践して示している。また、連携園の子ども達とは双方で園を訪問し同世代交流を、老人保健施設の訪問では、歌を披露し、握手を交わすなど世代間交流の機会を設けている。更に、大学実習生の受け入れもしており、職員以外の人達と活動を共にする機会は、子ども達にとって貴重な体験になっているが、コロナ禍で中止になっているものもあり、今後再開を検討している。

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	子ども一人ひとりに丁寧に関わり、保護者のニーズにも細やかに対応し、高い評価を得ている
	内容	職員全員が子育ての経験があり、園長も職員の保育スキルを評価している。保護者は、子どもから散歩の様子やチャレンジした事、友達と覚えた言葉や歌を聞き、その話の様子から職員の子どもへの思いを感じ取り、また、子育てや仕事等の相談で頂くアドバイスに信頼、感謝をしているとの感想を述べている。さらに、職員自身も、保護者へ寄り添い、家庭の事情に配慮し柔軟に対応、送迎時に保護者と十分話が出来る等の認識を持っている。小規模園の良さを活かしながら、保護者に寄り添い子ども一人ひとりに向き合う職員の姿勢と実績を高く評価したい。
2	タイトル	積極的な研修受講により専門性を高め、多様な子どもを受け入れることができる環境を整えている
	内容	当園では、発達支援や医療的ケアを必要とする子ども、養育困難家庭の子ども等、多様な子どもを可能な限り受け入れており、職員も受け入れにあたって必要な知識や技術等を習得するために勤務形態に関係なく、積極的に研修を受講している。コロナ禍が続く中でも、リモートやYouTube等のオンライン研修を受講できる環境を整え、都のキャリアアップ研修にも参加して専門性を高め、職員も園の研修への取り組みを高く評価している。また、職員同士が助け合い、長く仕事が続けられる環境も整っており、幅広い年齢層の職員がいて、定着率も高い。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	職員の負担軽減を踏まえた上で、中長期計画を作成・共有していくことを期待したい
	内容	当園では、保護者や子ども一人ひとりに丁寧に関わり、高い評価を得ている一方で、職員の負担軽減や確実な休憩時間・場所の確保が課題の一つとしてあげられている。法人としてさらなる事業拡大や働き方改革の推進も見込んでおり、今後は職員の負担軽減も踏まえた上で中長期計画を作成・共有するとともに、ICT導入やボランティアの戦力化等も視野に入れて検討していくことも期待したい。
2	タイトル	動画やSNSを活用し、園の特徴や最新情報を保護者や地域に積極的に発信していくことを期待したい
	内容	情報提供手段として、法人ではホームページの他にFacebookやブログ、インスタグラム等を活用しているが、保育事業としては、今後さらに整備するとともに、園周辺への掲示板の設置も検討している。ホームページでは、ひろば事業等の様々な活動をカレンダー形式でスケジュールを分かりやすく表示しているが、保育事業についても、動画を活用して園の特徴や強み、方針等を分かりやすく伝えるとともに、SNSを活用して園の最新情報を保護者や地域に発信していくことを期待したい。

